

## 〈解答〉

- ① 1 (1) ①：ウ ②：オセアニア  
(2) ア  
(3) 記号：C 気候帯：乾燥帯（両解）  
(4) イ

配点 各2点 10点満点

## 〈解説〉

- ① 1 (1) 世界の人口は約78億人で、中国、インド、アメリカ合衆国、インドネシア、パキスタン、ブラジル、ナイジェリアの順に多く、これらの7か国は2億人をこえている。その中でも、中国は14億4千万人、インドは13億8千万人と突出している（2020年）。
- (2) 北極や南極に近い高緯度地方では、夏至のころは、日没後も太陽が深く沈まないで、うす明るい夜になる。これを白夜という。反対に、冬至のころは夜が長く、昼間でもうす暗い日〔極夜〕が続く。この問題では、「6月のある日」とあるので、北半球が夏だとわかる。北半球の都市は、1図ではア、イ、エなので、このうちで最も高緯度に位置するアが、昼間の時間が最も長くなる。
- (3) 2図は、年降水量が少なく、北半球と季節が逆の南半球のCの都市の雨温図である。オーストラリア大陸は、年降水量が500mm未満の地域が全体の3分の2を占めている。特に、内陸では降水量が極めて少なく、乾燥した草原や砂漠が広がる乾燥帯に属する。Aの都市はモスクワで冷帯〔亜寒帯〕、Bの都市はシンガポールで熱帯、Dの都市はブエノスアイレスで温帯に属する。
- (4) 1日は、ほぼ経度180度の線に沿って引かれた日付変更線の西側から始まる。ア1図の図法では、東京から見た方位は正しく表されない。ウ1図の図法では、東京とある地点を引いた直線は、最短コースにはならない。エ東京とYの都市の時差は1時間で、Yの都市は東京より1時間遅れている。よって、東京とXの都市の時差よりも、Yの都市とXの都市の時差の方が小さい。